

平成24年3月6日

応用生命化学研究センター 第3回公開シンポジウム

「生命を化学の視点から探究する」

香川大学農学部では、2009年に応用生命化学研究センターが新設され、生物分子化学領域のケミカルバイオロジー研究および生命機能科学領域のバイオケミストリー研究が進展中です。今回、第3回の公開シンポジウムを下記の日程で開催します。基調講演に京都工芸繊維大学の竹谷 茂教授をお招きし、ヘムと鉄代謝間の厳密な調節に関する講演をしていただきます。また、当研究センターの教員4名が最新の研究成果について講演を行います。参加費は無料ですので、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

1. 日時 平成24年3月16日(金) 午後1時15分～4時45分

2. 会場 香川大学農学部 BW106

3. 内容 基調講演

「ヘムと鉄代謝間の厳密な調節: 病気と食品の話題」

竹谷 茂 京都工芸繊維大学教授

研究報告

「美白・美肌機能と免疫賦活化作用を有する海洋細菌多糖の作用機作と化粧品への展開」

岡崎 勝一郎 香川大学農学部教授

「希少糖類の溶液内分子構造と熱力学的安定性」

深田 和宏 香川大学農学部教授

「ゴルジ体で働く膜内在性プロテアーゼの役割」

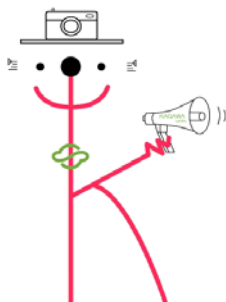
田中 直孝 香川大学農学部准教授

「植物生長抑制作用を有する希少糖誘導体の親水性官能基が生物活性に与える影響」

柳田 亮 香川大学農学部助教

4. 参加費 無料

5. 主催 香川大学農学部 応用生命化学研究センター



➤ 問い合わせ先

香川大学 農学部 川浪 康弘

TEL : 087-891-3088 FAX : 087-891-3021

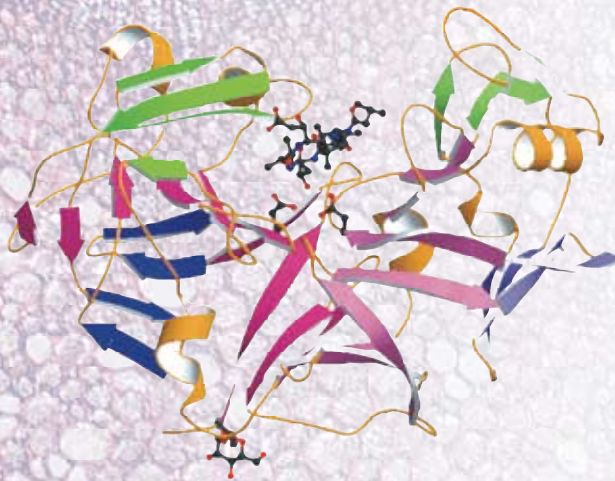
E-mail : kawanami@ag.kagawa-u.ac.jp

第3回公開シンポジウム

生命を化学の視点から探究する

Chemical biology

Biochemistry



と き 平成24年3月16日(金) 午後1時15分~4時45分
と ころ 香川大学農学部 BW106
参加費 無料

● 基 調 講 演

「ヘムと鉄代謝間の厳密な調節: 病気と食品の話題」

竹谷 茂 京都工芸繊維大学教授

● 講 演

「美白・美肌機能と免疫賦活化作用を有する海洋細菌多糖の作用機作と化粧品への展開」

岡崎 勝一郎 香川大学農学部教授

「希少糖類の溶液内分子構造と熱力学的安定性」

深田 和宏 香川大学農学部教授

「ゴルジ体で働く膜内在性プロテアーゼの役割」

田中 直孝 香川大学農学部准教授

「植物生長抑制作用を有する希少糖誘導体の親水性官能基が生物活性に与える影響」

柳田 亮 香川大学農学部助教

● 司 会 川浪 康弘 香川大学農学部教授

主 催 : 香川大学農学部 応用生命化学研究センター

問い合わせ先 香川大学農学部 機能分子化学研究室

TEL : 087-891-3088 FAX 087-891-3021